

事務事業の点検評価結果報告書

平成30年度

関市教育委員会

令和元年10月15日

はじめに

関市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、平成30年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価（以下「点検評価」という。）を行い、その結果に関する報告をここにまとめました。

1 点検評価の実施経過

点検評価の実施については、教育委員会各課がその所管する事務事業について自己評価（1次評価）を行い、点検評価をより適正なものとするため、外部の学識経験者等による教育委員会評価委員が各課の作成した点検評価表をもとにヒアリングを行い評価委員により評価（2次評価）を行いました。

その後、教育委員会は、教育委員会評価委員の評価（2次評価）をもとに、教育委員会会議において最終評価を実施しました。詳細については、教育委員会点検評価表全件リストに掲載しました。

2 点検評価の実施方法

この点検評価の方法につきましては、「平成30年度教育委員会各課等の方針と重点」に基づいて実施した事業について、次に示す4区分により達成度を評価しました。

- A 順調に執行している
- B 概ね順調に執行している
- C 執行見込みであるが、課題があるもの
- D 順調に執行されていないもの

<点検評価最終結果について>

全体の概要

評 定	内 訳	率	前年度内訳	前年度率
A 順調に執行している	52	73.2%	53	75.7%
B 概ね順調に執行している	19	26.8%	17	24.3%
C (執行(見込み)であるが、)課題があるもの	0	0.0%	0	0.0%
D 順調に執行されていないもの	0	0.0%	0	0.0%
計	71	100.0%	70	100.0%

○ 各課別の点検評価結果の概要

課 題	A	B	C	D	前年度			
					A	B	C	D
教育総務課	8	9	0	0	8	9	0	0
学校給食センター	5	1	0	0	3	3	0	0
学校教育課	10	5	0	0	12	3	0	0
まなびセンター	24	4	0	0	25	2	0	0
関商工高等学校	5	0	0	0	5	0	0	0
計	52	19	0	0	53	17	0	0

※地域事務所の事務事業評価については、予算措置をする教育委員会の各課が包括して実施しています。

3 教育委員会評価委員

点検評価にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の「教育に関し学識経験者の知見の活用を図るものとする。」という規定に基づき、下記の委員の方に関市教育委員会評価委員を委嘱し、点検評価（2次評価）を実施しました。

氏 名	職業又は前職
野 村 務	元小学校長
鈴 木 恵 介	会社役員
山 田 美穂子	会社役員

教育委員会点検評価表全件リスト（平成30年度事業）

課名 教育総務課

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			野村	鈴木	山田		
1	教育委員会事業	A	A	A	A	A	A
2	教育委員会事務局事業	A	A	A	A	A	A
3	教職員住宅管理運営事業	B	B	B	B	B	B
4	奨学資金貸付事業	A	A	A	A	A	A
5	中濃校舎管理事業	A	A	A	B	A	B
6	通学路安全対策事業	B	B	B	B	B	B
7	校務員配置事業	A	A	A	A	A	A
8	校舎等管理事業	B	B	B	B	B	B
9	備品管理事業	B	B	B	B	B	B
10	学校プール管理事業	B	B	B	B	B	B
11	学校運営費配分事業	B	B	B	B	B	B
12	運動場管理事業	B	B	B	B	B	B
13	教育ネットワーク・教職員用パソコン整備事業	A	A	A	B	A	A
14	スクールバス事業	A	A	A	A	A	A
15	学校建設事業	A	A	A	A	A	A
16	放課後子ども教室事業	B	B	B	B	B	—
17	留守家庭児童教室事業	B	B	B	B	B	—

課名 学校給食センター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			野村	鈴木	山田		
1	地産地消推進事業	A	A	A	A	A	B
2	食物アレルギーについての対応	B	B	A	B	B	B
3	献立の充実	A	A	A	A	A	A
4	食育広報事業	A	A	A	B	A	A
5	運営委員会事業	A	A	A	B	A	A
6	施設設備整備事業	A	A	A	A	A	B

課名 学校教育課

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			野村	鈴木	山田		
1	人権推進教育事業	A	A	A	B	A	A
2	研究指定校、モデル校事業	A	A	B	A	A	A
3	学校安全事業	B	B	B	B	B	B
4	特別支援事業	A	A	A	B	A	A
5	教育相談事業	B	B	B	B	B	A
6	就学支援事業	A	A	A	A	A	A
7	わかあゆプラン事業	B	B	B	B	B	A
8	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業	B	B	B	B	B	B
9	学校図書利用促進事業	A	A	A	B	A	A
10	学校各種教育事業	A	A	A	A	A	A
11	学校保健事業	A	A	A	A	A	A
12	P T A 連合会活動支援	A	A	A	A	A	—
13	家庭教育学級の充実	A	A	A	A	A	—
14	学校教材整備事業 教育用パソコン機器等の整備	A	A	A	A	A	A
15	学校教材整備事業	B	B	B	B	B	B

課名 まなびセンター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			野村	鈴木	山田		
1	(夏季)教職員資質向上研修講座	A	A	A	B	A	A
2	初任者研修	A	A	B	A	A	A
3	2年目研修	A	A	B	A	A	A
4	関市情報主任会	A	A	A	A	A	A
5	講師等ホープ研修	A	A	A	A	A	A
6	パワーアップ研修	A	A	A	A	A	A
7	研究会(情報教育)	A	A	A	A	A	A
8	研究会(小中英語)	A	A	A	A	A	A
9	研究会(小学校社会)・伸びゆくまち関市編集	A	A	A	A	A	A
10	研究会(学級経営)	A	A	A	A	A	A
11	研究会(小学校体育)	A	A	A	A	A	—
12	教育実践記録	A	A	A	A	A	A
13	文献資料室等の活用	B	B	B	B	B	A
14	子ども美術展・運営委員会	A	A	A	B	A	A
15	関市版寺子屋事業	A	A	A	B	A	A
16	児童生徒科学作品展・実行委員会	A	A	A	B	A	A

課名 まなびセンター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			野村	鈴木	山田		
17	夏休み科学作品学習相談会	A	A	A	A	A	A
18	小中学校連合音楽会・音楽主任会	A	A	A	A	A	A
19	児童生徒適応指導教室「ふれあい教室」の運営	A	A	A	B	A	—
20	引きこもり傾向にある児童生徒への支援活動	A	A	A	B	A	—
21	児童生徒及び保護者向けの教育相談窓口の開設	A	A	A	B	A	—
22	パソコン同好会支援	B	B	B	B	B	A
23	施設開放（パソコン研修室）	A	A	A	B	A	A
24	プラネタリウム投影	B	B	B	B	B	A
25	市民天体観望会	A	A	A	B	A	B
26	所報「ときめき」発行	A	A	A	B	A	A
27	まなびセンターホームページの運営	A	A	A	B	A	A
28	年次報告書「まなびセンターの歩み」の発行	B	B	B	B	B	A

課名 関商工高等学校

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			野村	鈴木	山田		
1	職業教育事業	A	A	A	A	A	A
2	学校施設の維持管理事業	A	A	A	B	A	A
3	施設整備事業	A	A	A	B	A	A
4	教職員給与等管理事業	A	A	A	B	A	A
5	保健事業	A	A	A	B	A	A

教育委員会点検評価別表（平成30年度事業）

評価委員の意見等を掲載しています。

《教育総務課》

野村評価委員

番号	2	評価	A	事業名	教育委員会事務局事業
優良児童・生徒の顕彰や新入学児童・生徒への祝い品は、教育委員会の事業として大いにPRしてほしい。					

鈴木評価委員

番号	3	評価	B	事業名	教職員住宅管理運営事業
老朽化等の問題もあるかとは思いますが、施設利用度を上げるために、一般企業への貸出を検討されるなど、進めてはどうか。外国人研修生を受け入れる市内企業が今後更に増えていくことを考えると、そういった活用方法が有効的だと考えます。維持費等、市費の負担を減らす事を早い段階で模索した方が良いと考えます。					

山田評価委員

番号	5	評価	B	事業名	中濃校舎管理事業
使わなくなった施設の安全管理、再利用等、現状に合った対策の検討を求めます。					

野村評価委員

番号	6	評価	B	事業名	通学路安全対策事業
通学路等の安全対策は、事が起こってから対応する後手に回るケースが多い。何事も危険予知の発想で対応することを望みたい。					

野村評価委員

番号	8	評価	B	事業	校舎等管理事業
	9		B		備品管理事業
	10		B		学校プール管理事業
	11		B		学校運営費配分事業
	12		B		運動場管理事業
多くの学校が築数十年を迎え、その補修・改修及び保全に経費がかさむことが考えられる。すべてを新築する発想から改修して長持ちさせるという考え方はやむを得ないことである。					

野村評価委員

番号	11	評価	B	事業名	学校運営費配分事業
桜学館は、以前勤務したこともあり、本県唯一の情短施設として家庭的に行き場のない児童・生徒のセーフティネットの役割も果たしている。市としても手厚い補助をお願いしたい。					

山田評価委員

番号	13	評価	B	事業名	教育ネットワーク・教職員用パソコン整備事業
A I による教育環境の変化に伴う子どもたちへの適切で柔軟な対応の必要性を感じます。					

山田評価委員

番号	15	評価	A	事業名	学校建設事業
昨年度は災害対応が大変だったと思います。これを教訓に災害に備える平常のチェックの強化を求めます。					

野村評価委員

番号	17	評価	B	事業名	留守家庭児童教室事業
共働きの家庭の増加とともに、保護者のニーズも高く利用する児童数も増えているのではないかと。対応する職員の研修の充実が図られたい。					

鈴木評価委員

番号	全体	評価		事業名	
少子化が急速に進むと予想される中で、学校の小規模化が進んでいくと見込まれます。望まなくとも学校の適正配置等を真剣に考えていかないといけない時期に立たされていると思います。教職員の確保、施設の維持管理という観点でも、多パターンをシュミレーションし、十分に検討を進められることを期待します。					

《学校給食センター》

山田評価委員

番号	1	評価	A	事業名	地産地消推進事業
地域の特性や良さを子どもたちへの周知のためにも地産地消はさらに進めてほしいです。					

野村評価委員

番号	2	評価	B	事業名	食物アレルギーについての対応
<p>食物アレルギーが、より複雑化・重度化していなければと危惧する一人である。学校給食アレルギー検討委員会が、その課題に向けて十分機能するよう、充実を図られたい。</p>					

鈴木評価委員

番号	2	評価	A	事業名	食物アレルギーについての対応
<p>すべての子どもの対応が出来ていないということでしたが、対応検討委員会を設けるなど、できる限り対応したいと取り組まれていることは評価できます。</p>					

山田評価委員

番号	2	評価	B	事業名	食物アレルギーについての対応
<p>子どもの体質については、行政や学校側だけでは難しいので家庭からの積極的な関わりの必要性を強く感じます。</p>					

野村評価委員

番号	4	評価	A	事業名	食育広報事業
<p>本来食べることは、楽しいことである。学校給食においても食の楽しさを広げる事業として大いに取り組んでほしい。</p>					

鈴木評価委員

番号	4	評価	A	事業名	食育広報事業
<p>とても素晴らしい取り組みです。子どもの時から日本の食文化について学びを深めることは、外国の方々とふれあう機会が増えている昨今においてとても重要だと考えます。こういった機会を子どもたちに多く提供出来るように推進して頂きたいです。英語学習の一環として取り組みを作られることも考慮されると更に良い取り組みになると思いました。</p>					

山田評価委員

番号	4	評価	B	事業名	食育広報事業
<p>セレクト給食、リザーブ給食の意味を理解した給食活動ができているか。</p>					

野村評価委員

番号	6	評価	A	事業名	施設設備整備事業
<p>本年度着工が始まった新給食センターの完成とそこを拠点とした事業の充実に期待したい。そのためにも、着実に準備を進めてほしい。</p>					

山田評価委員

番号	6	評価	A	事業名	施設設備整備事業
新施設の竣工を楽しみにしています。					

《学校教育課》

野村評価委員

番号	1	評価	A	事業名	人権推進教育事業
本県他市で起こったいじめによる自殺事案は決して他人事ではない。対策・対応は十分考えられていたはずなのにだからである。個々の思いのズレが事を起こしてしまったとしか言いようがない。一層予防する手だてを着実に進めてほしい。					

山田評価委員

番号	1	評価	B	事業名	人権推進教育事業
安心できる親しみと礼節をもって子どもたちとのふれあいと信頼感を高めてほしいです。					

野村評価委員

番号	2	評価	A	事業名	研究指定校、モデル校事業
市（長）が進める「市立図書館の整備、STEAM教育の推進、ICT教育環境の充実」とリンクした研究指定やモデル事業が打ち出せないか。					

鈴木評価委員

番号	2	評価	B	事業名	研究指定校、モデル校事業
事業を行ったという評価は必要ないと考えます。 やった事よりもやっけてどうだったのか。そこを評価してください。					

野村評価委員

番号	3	評価	B	事業名	学校安全事業
人材確保が難しいのは、ボランティア程度の手当で後期高齢者しか応募しない側面もあるのではないか。					

山田評価委員

番号	4	評価	B	事業名	特別支援事業
	5		B		教育相談事業
対応する担当者の確保と指導力の向上を願います。					

鈴木評価委員

番号	8	評価	B	事業名	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業
<p>今後、更に外国籍の子どもが増えると考えます。人員確保が難しく対応しきれないと伺いましたが、将来的なことを検討し、こうしたところにもITの技術を取り入れて考えたらよいのではないのでしょうか。</p>					

山田評価委員

番号	8	評価	B	事業名	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業
<p>子どもたちに寛容性と国際感覚を養ってほしいです。</p>					

山田評価委員

番号	9	評価	B	事業名	学校図書利用促進事業
<p>ペーパーレス化が進んでいますが、読書の楽しみを深める指導を望みます。</p>					

鈴木評価委員

番号	全体	評価		事業名	
<p>いくつかの事業で、人材確保が難しいと伺いました。 今後、更に人材確保は難しくなると考えます。 人でしかできないこと、人でなくてもできることを分析し、IT技術を取り入れることの検討を進めることが必要だと考えます。</p>					

《まなびセンター》

野村評価委員

番号	1	評価	A	事業名	(夏季) 教職員資質向上研修講座
	2		A		初任者研修
	3		A		2年目研修
	4		A		関市情報主任会
	5		A		講師等ホープ研修
	6		A		パワーアップ研修
	7		A		研究会 (情報教育)
	8		A		研究会 (小中英語)
	9		A		研究会 (小学校社会)・伸びゆくまち関市編集
	10		A		研究会 (学級経営)
	11		A		研究会 (小学校体育)
<p>県の教員採用試験を受験する学生等の数が減少していると聞く。若い人にとって教職が魅力あるものであるためにも、研修の充実と、意欲の高揚は欠かせない。一層の充実を期待する。</p>					

山田評価委員

番号	1	評価	B	事業名	(夏季) 教職員資質向上研修講座
	2		A		初任者研修
	3		A		2年目研修
	4		A		関市情報主任会
	5		A		講師等ホープ研修
	6		A		パワーアップ研修
研修後の変化、効果、問題点の振り返りを今後の教育活動に生かしてほしいと思います。					

山田評価委員

番号	13	評価	B	事業名	文献資料室等の活用
文献資料の有効活用と整理を期待します。					

山田評価委員

番号	14	評価	B	事業名	子ども美術展・運営委員会
	15		B		関市版寺子屋事業
	16		B		児童生徒科学作品展・実行委員会
展示期間を長くすることはできないでしょうか。					

山田評価委員

番号	18	評価	A	事業名	小中学校連合音楽会・音楽主任会
児童生徒が一体となって打ち込む姿は素晴らしいと思います。					

野村評価委員

番号	19	評価	A	事業名	児童生徒適応指導教室「ふれあい教室」の運営
	20		A		引きこもり傾向にある児童生徒への支援活動
	21		A		児童生徒及び保護者向けの教育相談窓口の開設
「ふれあい教室」がセンターに移り、保護者や児童生徒の利用・活用が広がったことは、大きな成果である。					

山田評価委員

番号	19	評価	B	事業名	児童生徒適応指導教室「ふれあい教室」の運営
	20		B		引きこもり傾向にある児童生徒への支援活動
	21		B		児童生徒及び保護者向けの教育相談窓口の開設
個々の個性を受け入れ、活かし伸ばしていただけるようにお願いします。					

鈴木評価委員

番号	1 3	評価	B	事業名	文献資料室等の活用
	2 6		A		所報「ときめき」発行
	2 8		B		年次報告書「まなびセンターの歩み」の発行

せつかくの文献資料や報告書です。働き方改革を推進する中で、各資料が有効活用されなくなってしまう意味がありません。資料をデータ化するなど、教職員の方々にとって、時間を有効かつ有意義に使えるよう考えることが必要だと考えます。

山田評価委員

番号	2 2	評価	B	事業名	パソコン同好会支援
	2 3		B		施設開放（パソコン研修室）
	2 4		B		プラネタリウム投影
	2 5		B		市民天体観望会
	2 6		B		所報「ときめき」発行
	2 7		B		まなびセンターホームページの運営
	2 8		B		年次報告書「まなびセンターの歩み」の発行

活動の周知が更に広がる方法を検討願います。

野村評価委員

番号	全体	評価		事業名	
教育相談、パソコン研修、更にプラネタリウムの利用等、よくやっていると思うが、間口が広がり過ぎていないか。					

《関商工高等学校》

野村評価委員

番号	4	評価	A	事業名	教職員給与等管理事業
伝統の継承も大切であるが、働き方改革、生徒と教員の信頼関係の構築等、よりよい職場環境作りに努めてほしい。					

野村評価委員

番号	全体	評価		事業名	
関市立の高等学校として、地域住民が誇りに思うような生徒の姿や成果をあげていることがありがたい。今後もそのよさを継続してほしい。					

山田評価委員

番号	全体	評価		事業名	
関商工の文武の活躍は関市の宝だと思います。事業、管理、運営のすべてに関して年間を通じて厳しいチェックを求めます。					